

設置2カ月半で利用者184人

久御山町役場 地域共通診察券の発行ブース

昨年11月から久御山町役場1階に、「地域共通診察券」(すこやか安心カード)の無料発行ブースが設置されている。設置から2カ

月半が過ぎ、利用人数は184人(1月17日現在)という結果となった。

地域共通診察券は、NPO法人「日本サステイナブル・コミュニケーション・センター」(SCCJ)が

総務省の委託で実証実験として実施している。発行ブースにスタッフが常駐。

発行したカードに受



診歴や投薬歴などの患者情報をデータ蓄積することができ、手続きすると1枚のカードだけで、提携している複

数の医療機関を受診することができる。また、ICカード機能により、薬手帳や医療明細書、様々な検査結果など、対応医療機関から提供される医療情報を自分で簡単に管理できるという。

現在では3市1町(京都市、宇治市、城陽市、久御山町)の医療機関で対応が広がっている。提携先は窓口でも紹介している。医療機関以外で発行ブースが設置されるのは久御山町役場が府内で初めて。

SCCJによると久御山町では、昨年3月から6月末まで久御山南病院・坊之池村中にてブースを設置しており、役場ブースを合わせて892枚を発行した。2月1日からは同病院でも設置を再開するという。担当者は「今後も利用者が広がってもらえれば嬉しい」と話している。

【池田和司】

【写真は設置から2カ月半が過ぎた地域共通診察券の発行ブース(久御山町役場)】